

第3回国連防災世界会議 パブリックフォーラム

母と子を守る危機管理－地域医療・保健における創造的協働による
新しい取り組み

Emergency Preparedness in Maternal and Child Care –
reconstructing by creative collaboration with community
medicine and public health care system

妊産婦さんへいかに情報を伝えるか、 情報収集するか

2015年3月15日

公益社団法人 日本助産師会

葛西圭子



妊産婦さんへいかに情報を伝えるか、情報収集するか

災害発生

- ・情報の滞り
- ・情報の刻々とした変化

情報の重要性

- ・緊急を要し
かつ
- ・正確性が求められる

情報取得と提供

- ・妊産婦や母子情報取得に努める
- ・行政等支援者は妊産婦や母子に対する適切な情報を提供する

・平時における妊産婦と母子、自治体等支援者両者の災害に対する情報に関する備え

・発災後各フェーズにおける妊産婦、母子に関する効果的な情報把握と提供方法の考案

発災時の妊産婦、母子への情報提供 マニュアル例の作成留意点

- マニュアルは行動レベルで作成する

The manual is to be prepared at action level

- 平時と発災後各フェーズに分けて、状況の変化に対応する内容とする

The contents are divided for ordinary times and each phase after disasters and respond to changes in situations

- 各フェーズごとに留意すべき事項を記載する

Matters to be considered in each phase are mentioned



災害発生時の情報把握と情報伝達

(フェーズ分類は東京都災害医療協議会(平成24年9月)による新フェーズ)

■フェーズ0(発災直後)発災～6時間

Phase 0 (until 6hours)

■フェーズ1(超急性期)6時間～72時間

Phase 1 (from 6hours to 72hours)

■フェーズ2(急性期)72時間～1週間程度

Phase 2 (from 72hours to 1week)

■フェーズ3(亜急性期)1週間～1か月程度

Phase 3 (from 1week to 1month)

■フェーズ4(慢性期)1か月～3か月程度

Phase 4 (from 1month to 3months)

■フェーズ5(中長期)3か月以降

Phase 5 (from 3months and after)



災害発生時の情報把握と情報伝達

■フェーズ0(発災直後)発災～6時間

情報把握			情報伝達						留意点
●安否と妊産婦・母子の確認 ●産科医療従事者の把握			妊産婦、母子に関する情報伝達			ニーズに応じた情報伝達			* 妊産婦、母子は自らの状況を情報発信するとともに、必要な情報取得に努力する
			●災害弱者としての取り扱いに関して			●避難スペース(授乳環境、状況に応じた家族を含めた母子専用の避難場所周知(と移動)) ●物資優先配布 ●トイレの確保 ●清潔保持(タオル、湯) ●行政連絡等随時発信			
誰が	誰に	方法	誰が	誰に	方法	誰が	誰に	方法	
避難所の中核となる人 (自治会役員、民生委員、愛育班員等)	避難者全員	■呼びかけ 「妊娠している方、産後の方はいますか？」 「乳幼児をお連れのご家族(お母様)はいますか？」 ↓ ・名簿作成 (氏名、避難場所、状況(有症者・無症者、妊娠・産後状況、避難場所移動希望等))	避難所の中核となる人	避難者全員	・妊産婦、母子については災害弱者として扱うことを伝達し理解を求める 「妊産婦、母子について優先的な配慮を行いますのでご協力ください」	妊産婦・母子担当者 (保健師、助産師)	妊産婦 母子	■掲示板、拡声器 個別周知(名簿による)	* 情報把握は女性が担当することが望ましい * 名簿記載フォームは平時に決定しておく * 作成した名簿は他のデータとともに一括管理し、外部支援者等と随時共有する * 妊産婦、母子は避難所を敬遠し、自宅に留まっていたり、自家用車等で過ごしていること等にも留意する * 災害の規模、避難者の状況により、無症者には自立した行動を促す必要もあることを念頭に置く * 有症・無症者のトリアージは保健医療者が望ましい
				妊産婦 母子	・優先的な配慮対象とすることの情報伝達を行う 「妊産婦、母子の皆様は優先的な支援が必要ですので、支援情報についてご注意ください」				

■フェーズ2(急性期)72時間～1週間程度

情報把握			情報伝達					留意点	
●支援の必要な妊産婦・母子の確認 ●早期退院した母子 ●避難所以外の妊産婦・母子の確認			妊産婦、母子に関する情報伝達		ニーズに応じた情報伝達			* 状況によって、子どもの遊び場等についても情報発信していく * 電話、携帯電話等は復旧状況、利用可能環境の状況にもよる	
			●災害弱者としての取り扱いに関して ●早期退院母子の休養の必要性について		●避難スペース(授乳環境、状況に応じた家族を含めた母子専用の避難場所周知(と移動)(自家用車、環境の悪い自宅に留まっている場合には移動を促す) ●連絡手段の情報伝達(特に避難所以外の避難妊産婦) ●交通手段 ●物資優先配布 ●【早期退院母子】創部の清潔(清浄綿) 児の臍部消毒物品 ・衣料 ・寝具 ●トイレの確保 ●清潔保持(タオル、湯)				
誰が	誰に	方法	誰が	誰に	方法	誰が	誰に	方法	* 情報把握は状況により、外部支援者等との連携を行う * 母乳育児優先への配慮を行う。 (被災者として母親が避難所の片づけ等活動しがちだが、授乳とその場所確保を優先する) * 子どもを抱えている母親、あるいは妊婦は、単独で行動できないため、支援が必要となる * 感染予防については被災者全員にも情報伝達が重要である
避難所の中核となる人(自治会役員、民生委員、愛育班員等)	避難所以外に避難している妊産婦	■徒歩、車 ・名簿作成(氏名、避難場所、状況(妊娠、産後状況等)) マッピング	避難所の中核となる人	避難者全員	■電話サービス、携帯電話等の活用 ・妊産婦、母子については引き続き協力を求める 「妊産婦、母子について優先的な配慮を行いますのでご協力ください」 ・妊産婦、母子への支援者確保「妊産婦、母子に手助けしていただける方はいませんか？」	産科医療従事者 保健師 薬剤師	早期退院母子	■携帯電話等の利用 ・個別に心身の状況を確認することの情報伝達 医療機関、医療従事者情報 医薬品情報	
			妊産婦母子	・優先的な配慮対象とすることの情報伝達を行う「妊産婦母子の皆様は優先的な支援が必要です。支援情報についてご注意ください」 ・各妊産婦、母子への支援者割り当て情報伝達「〇〇さんが担当します」	被災地以外の支援団体等	妊産婦、母子	■TV,Webサイトによる、各種支援情報伝達 ・電話相談 ・被災地外受け入れ ・医療機関情報		

今後の課題

- 妊産婦でも有症者には適切なトリアージがなされるべきです。
- As for expectant and nursing mothers, appropriate triage should be carried out for symptomatic persons.
- 無症者においても、ある程度のリスクが考えられるため、災害弱者として明確に位置づけることが望ましいと考えます。
- Mothers without symptoms are also considered to have a certain degree of risks, it is desirable to consider them clearly as people vulnerable to disaster.



- 2011年に発生した東日本大震災では伝統的な性別役割規範の影響を受けて、必ずしも女性や子どもに必要な支援が十分でなかった側面も見受けられます。
- In the aftermath of the Great East Japan Earthquake that took place in 2011, it was observed that enough support was not necessarily provided for women and children due to traditional norms on gender roles.
- 平時から女性全体と妊産婦の支援を関連づけて考えていくことが、いつ起こるのか予測がつかない発災時の支援につながると考えます。
- Associating support for all women with support for expectant and nursing mothers at ordinary times contributes to support provided at the time of disaster, which cannot be predicted.



おわりに

- 災害発生時に人々が具体的な行動がとれるマニュアルが必要です。
- 各自治体、地域の特性に合わせて作成することが望めます。その際に今回提示しました内容を参考としていただければ幸いです。

Conclusion

- It is desirable to prepare manuals that instruct expectant and nursing mothers, mothers and children, and all supports to take concrete actions at the time of disaster in each local government and area, depending on their circumstances. I would be delighted if the content of this presentation was referred to in preparing such manuals.

